

## 第2回 医療クルー ～手術室で本物体験～

2026.6.23



6月20日(土)、第2回医療クルーを実施しました。

今回は、西野学園様、そして北海道立子ども総合医療・療育センター(コドモックル)様のご協力のもと、実際の手術室を使った特別な医療体験を行いました。

当日は午前9時30分に西野学園のバスで学校を出発し、10時30分にコドモックルへ到着。到着後すぐに全員が本物の手術着に着替え、実際の手術室へ入りました。生徒たちからは、「すごい、ドラマみたい!」「緊張する…」という声上がり、普段入ることのできない空間に期待と緊張が高まっていました。



今回のテーマは「臨床工学技士について知る」。4つのグループに分かれ、実際に手術台に横たわって患者役を体験しながら、生体情報モニターで心拍数などを確認したり、手元に影ができない无影灯の仕組みを学んだりしました。

さらに、生徒たちは実際の豚の心臓を使った電気メス体験にも挑戦。人工心肺装置、軟性内視鏡、脳外科手術で使用される電子顕微鏡の操作など、普段は触れることのできない最先端の医療機器にも触れました。



最後には屋上のヘリポートも見学し、命を支える医療現場のスケールの大きさを体感しました。参加した生徒たちからは、「今までは臨床検査技師の仕事しかよく分かっていなかったけれど、今回参加してみて、臨床工学技士が手術に深く関わっていることを知ることができました。ひとつの医療職だけではなく、他の職種とのつながりを知ること、さらに医療系への興味が広がりました。」



「初めて本物の手術室に入って、その空気感に圧倒されました。ドラマで見たことはあったけれど、実際には患者さんの命を支えるためのたくさんの機械があり、それぞれに重要な役割があることを知りました。」



「電気メスで実際に豚の心臓を切る体験では、想像以上によく切れて、ミスが許されない仕事だと感じました。実際に器具を見て、触れてみることで、仕事の内容を深く理解することができました。」



「今回初めて医療クルーに参加し、病院という現場に来たことで、自分の将来についてより現実的に考えることができました。臨床工学技士の仕事は思っていた以上に集中力が必要で、もっと勉強しなければならないと感じました。」

「私は看護師を目指していますが、今回手術室で実際に行われていることを体験できたことで、将来小児科や産婦人科で働きたいという思いがさらに強くなりました。医療現場では技術だけでなく、コミュニケーション能力もとても大切だと感じました。」

次回、第3回医療クルーは7月29日に西野学園の施設で実施予定です。臨床検査技師・理学療法士・作業療法士の3つの医療職を体験しながら、「チーム医療」の重要性についてさらに学びを深めていきます。